

令和8年3月26日

岩沼市長 佐藤 淳一 殿

岩沼市上下水道事業運営審議会

会長 穴戸 和 憲



岩沼市水道事業経営戦略について（答申）

令和8年2月26日付け岩水経第269号で諮問のあったこのことについて、審議の結果、原案は妥当であると結論を得たので、下記の付帯意見を添えて答申します。

記

- 1 安心・安全で低廉な水道水を安定的に供給し、水道事業を将来にわたり持続させるため、適切な施設の維持管理及び更新を継続するとともに、災害に備えて施設の耐震化を実施することが求められます。
- 2 事業の効率化や広域連携の活用等、これまで実施してきた経営健全化の取組を継続し、将来を見据えた事業運営を行ったうえで、施設の合理化（ダウンサイジング等）や水道料金の改定を検討する必要があると考えます。
- 3 水道料金の改定は市民生活に多大なる影響を与えることから、料金体系の見直しを含め慎重に検証し、その内容について市民の理解が得られるよう市民に対し十分な説明を行い、急激な料金上昇とならないよう計画的な実施を要望します。